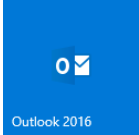



新規設定

① Outlook 2016を起動します

※ デスクトップから起動する場合



②の「Microsoft Outlook 2016 スタートアップ」画面が表示します

※ デスクトップやタスクバー上に Outlook 2016 が表示されていない場合は、スタートボタン () から「すべてのプログラム」を選択し、一覧から以下のボタンを選択して起動します

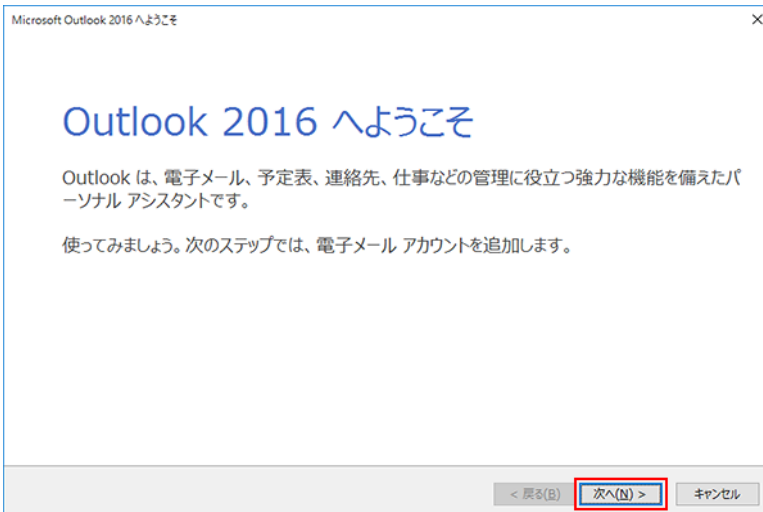
* 「Microsoft Outlook 2016 スタートアップ」画面しない場合 「ファイル」画面が表示されます

「ファイル」をクリックします。

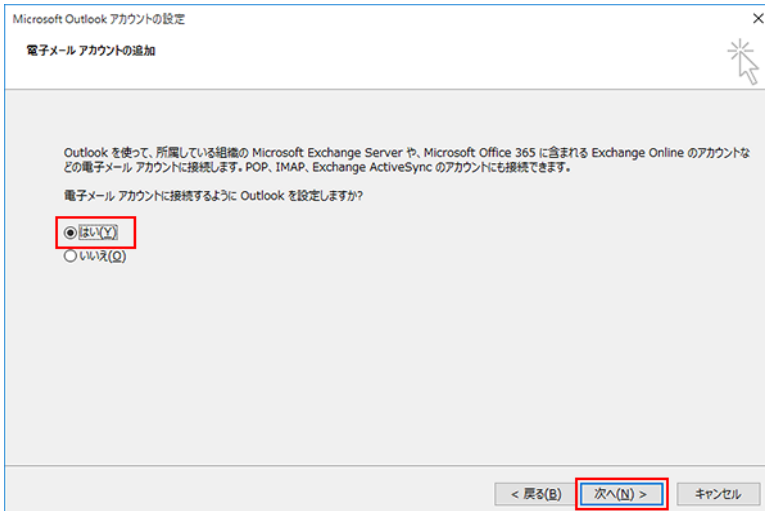
「情報」→「アカウントの追加」をクリックします。④に進みます



② 「Microsoft Outlook 2016スタートアップ」画面が表示し 「次へ」をクリックします



③ 「電子メールアカウントの追加」画面が表示し 「はい」を選択し、「次へ」をクリックします



④ 「自動アカウント セットアップ」の画面が表示します

「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする」にチェックを入れて「次へ」をクリックします

アカウントの追加

自動アカウント セットアップ
多くの電子メール アカウントを自動的に設定できます。

電子メール アカウント(A)

名前(N):
例: Eiji Yasuda

電子メール アドレス(E):
例: eiji@contoso.com

パスワード(P):

パスワードの確認入力(I):
インターネット サービス プロバイターから提供されたパスワードを入力してください。

自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)(M)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑤ 「サービスの選択」画面が表示します

「POP または IMAP」を選択し、「次へ」をクリックします

アカウントの追加

サービスの選択

Outlook.com または Exchange ActiveSync と互換性のあるサービス(A)
Outlook.com などのサービスに接続し、電子メール、予定表、連絡先、タスクにアクセスします

POP または IMAP(P)
POP または IMAP 電子メール アカウントに接続します

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

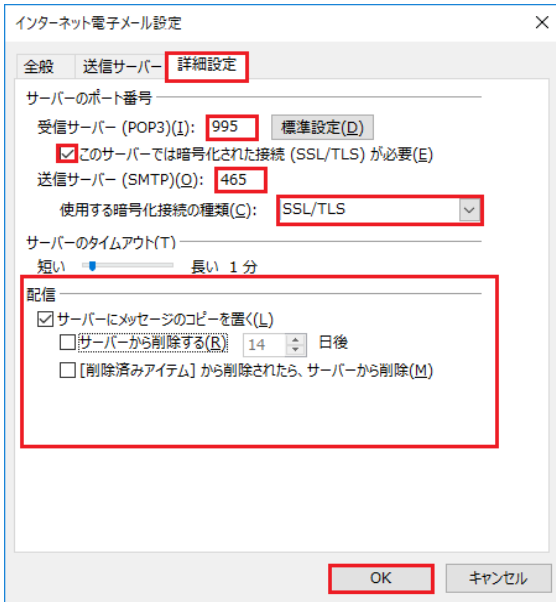
- ⑥ 「POPとIMAPのアカウント設定」画面が表示します 各項目を入力し、画面右下の「詳細設定」をクリックします

- ユーザー情報
 - 名前(Y) : お名前を入力してください
 - 電子メールアドレス(E) : メールアドレス
- サーバー情報
 - アカウントの種類(A) : 「POP3」 *IMAPの場合「IMAP」
 - 受信メールサーバー(I) : **pop3.infonia.net** POPサーバー名
 - 送信メールサーバー (SMTP) (O) : **post.infonia.net** SMTPサーバー名
- メールサーバーのログイン情報
 - アカウント名(U) : **POPユーザー名** 例) btm00000
 - パスワード(P) : **POPパスワード**
 - パスワードを保存する(R) : **チェックする**
- 入力後「**詳細設定**」をクリックしてください

- ⑦ 「送信サーバー」タブをクリックしてください 各項目を入力してください

- 送信サーバー (SMTP) (O)は認証が必要 : **チェックする**
- 次のアカウントとパスワードでログインする(L) : **チェックする**
- アカウ名 : **SMTP認証ユーザー(アカウント)名**
例) btm0000@be.to POPユーザー名@be.to
- パスワード : **SMTP認証パスワード**
(POPパスワードと同じです)
- 「パスワードを保存する」に**チェックする**
- 入力後「**詳細設定**」の**タブ**をクリックしてください

⑧ 「詳細設定」タブをクリックします



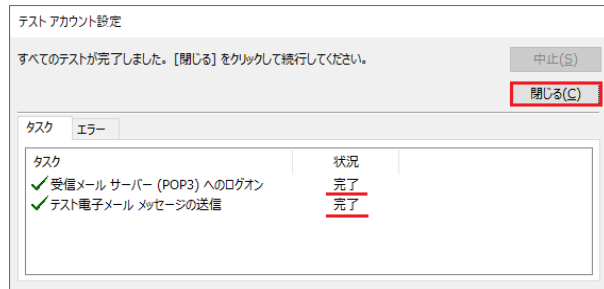
- 受信サーバー (POP3) (I) : 995 IMAPの場合は993
- このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) 必要(E):**チェックする**
- ※IMAPの場合 : 使用する暗号化接続の種類:SSL/TLS
- 送信サーバー (SMTP) (Q) : 465
- 使用する暗号化接続の種類:SSL/TLS

SSL利用無し

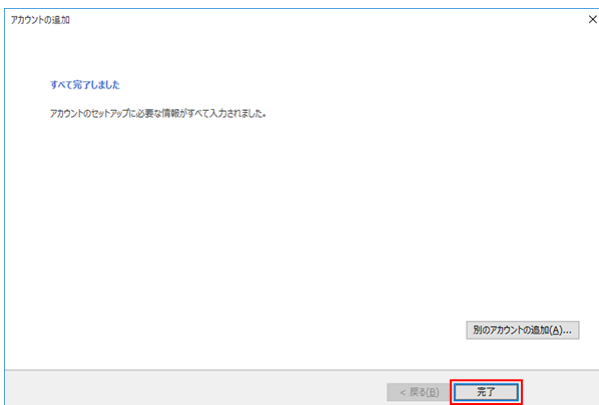
- 受信サーバー (POP3) (I) : 110 IMAPの場合は143
- このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) 必要(E):**チェック無**
- ※IMAPの場合 : 使用する暗号化接続の種類:なし
- 送信サーバー (SMTP) (Q) : 587
- 使用する暗号化接続の種類:なし
- 配信 : **お客さまのご利用にあわせてチェックしてください**
サーバーにメールのコピーを置くにチェックするとメールボックスにメールのコピーが残ります。
*メールボックスの使用容量が増加します。
- 入力後「OK」をクリックしてください

⑨ ⑥の画面にもどります。右下の「次へ」をクリックします。

- ⑩ テストアカウントを実行します
受信・送信の状況が「完了」で「閉じる」をクリックしてください

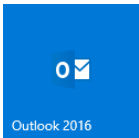


⑪ 「完了」の画面が表示します 「完了」をクリックしてください



以上で設定完了です。

① Outlook 2016を起動します



② 「ファイル」をクリックします。



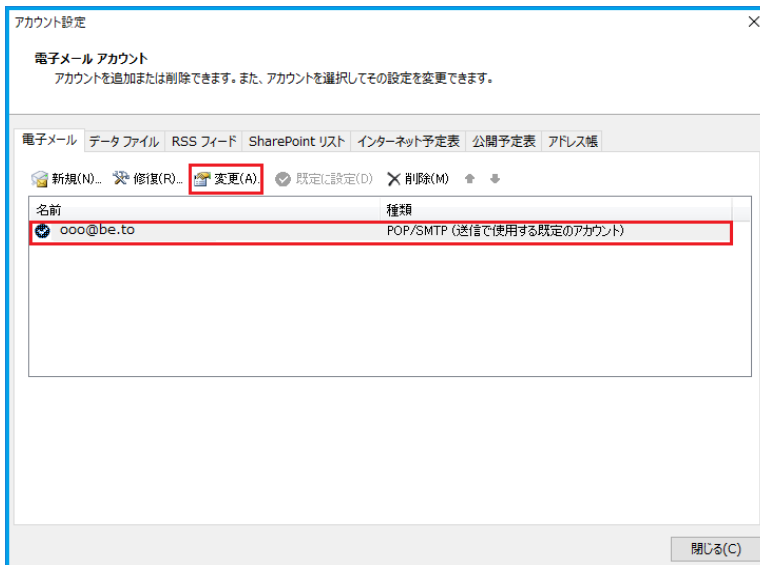
③ 「ファイル」画面が表示されます

「情報」→「アカウントの設定」→「アカウントの設定 (A)」をクリックします



④ 「アカウント設定」の画面が表示します

メールアドレスを指定し、「変更」をクリックします



⑤ 「POPとIMAPのアカウント設定」画面が表示し、各項目を確認し、画面右下の「詳細設定」をクリックします

アカウントの追加

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(N): お名前
電子メール アドレス(E): △△@○○○.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メールサーバー(I): POPサーバー名
送信メールサーバー (SMTP)(Q): SMTPサーバー名

メールサーバーへのログオン情報
アカウント名(U): POPユーザー名
パスワード(P): *****
 パスワードを保存する(B)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
アカウント設定のテスト(I)
 [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

新しいメッセージの配信先:
 新しい Outlook データファイル(W)
 既存の Outlook データファイル(X)

メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください(Q)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

● ユーザー情報

名前： お名前を入力してください 電子メールアドレス： メールアドレス

● サーバー情報

アカウントの種類(A)： 「POP3」 *IMAPの場合「IMAP」
 受信メールサーバー(I)： pop3.infonia.net POPサーバー名
 送信メールサーバー (SMTP) (O)： post.infonia.net SMTPサーバー名

● メールサーバーのログオン情報

アカウント名(U)： POPユーザー名 例) btm00000
 パスワード(P)： POPパスワード
 パスワードを保存する(R)： チェックする

● パスワード： POPパスワード

● パスワードを保存する： チェックする

● 入力後「詳細設定」をクリックしてください

⑥ 「送信サーバー」タブをクリックしてください 各項目を入力してください

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)
 受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)
 次のアカウントとパスワードでログオンする(L)
 アカウント名(N): SMTP AUTH アカウント
 パスワード(P): *****
 パスワードを保存する(R)
 セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(O)
 メールを送信する前に受信メールサーバーにログオンする(I)

OK キャンセル

● 送信サーバー (SMTP) (O)は認証が必要： チェックする

● 次のアカウントとパスワードでログオンする(L)： チェックする

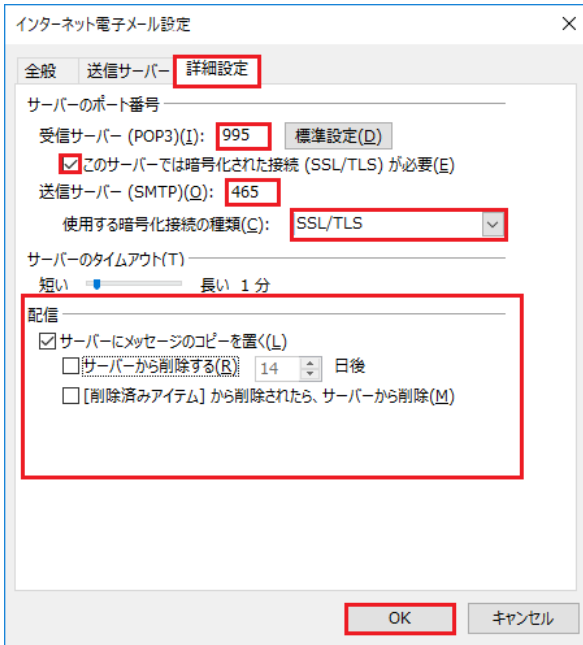
● アカウ名： SMTP認証ユーザー(アカウント)名
 例) btm0000@be.to POPユーザー名@be.to

● パスワード： SMTP認証パスワード
 (POPパスワードと同じです)

● 「パスワードを保存する」にチェックする

● 入力後「詳細設定」のタブをクリックしてください

⑦ 「詳細設定」タブをクリックします



- 受信サーバー (POP3) (I) : 995 IMAPの場合は993
- このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) 必要(E):チェックする
- ※IMAPの場合 : 使用する暗号化接続の種類:SSL/TLS
- 送信サーバー (SMTP) (Q) : 465
- 使用する暗号化接続の種類:SSL/TLS

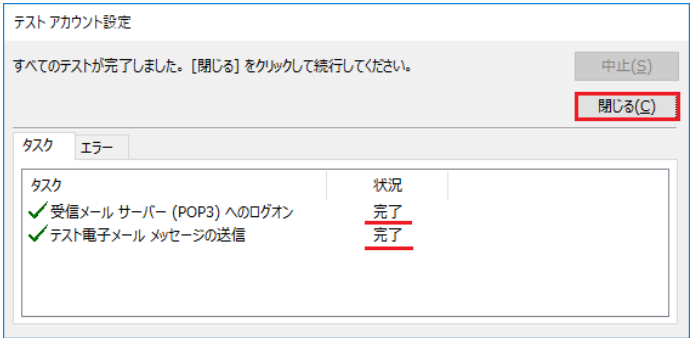
SSL利用無し

- 受信サーバー (POP3) (I) : 110 IMAPの場合は143
 - このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) 必要(E):チェック無
 - ※IMAPの場合 : 使用する暗号化接続の種類:なし
 - 送信サーバー (SMTP) (Q) : 587
 - 使用する暗号化接続の種類:なし
 - 配信 : お客さまのご利用にあわせてチェックしてください
- サーバーにメールのコピーを置くにチェックするとメールボックスにメールのコピーが残ります。
*メールボックスの使用容量が増加します。
- 入力後「OK」をクリックしてください

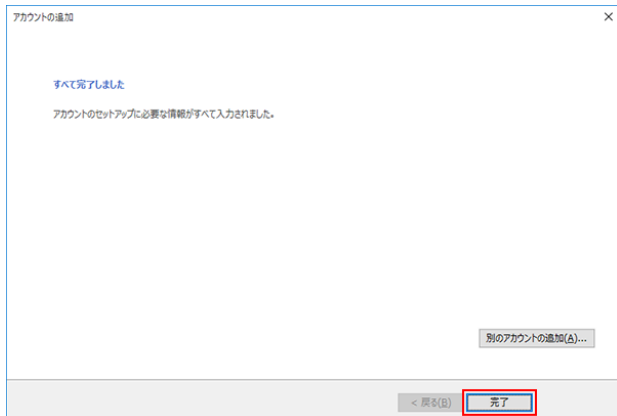
⑧ ⑤の画面にもどります 右下の「次へ」をクリックします

⑨ テストアカウントを実行します

受信・送信の状況が「完了」で「閉じる」をクリックしてください



⑩ 「完了」の画面が表示します。「完了」をクリックしてください



以上です。